

町政モニター感想文

藤本 勝美

教育について、環境につい

て、あるいは町村合併について・・・と、テーマごとの話し合いは、役場の偉い方々と向き合い、大変緊張しましたが、ちゃんとした資料を提示して下さり、分かりやすく、一緒に考え、意見を言うこともでき、有意義なモニター活動ができました。

これから新しい庁舎に、どんな新しい風が吹いていくのか楽しみです。

「肩の力を抜き
自分のレベルで」

村上 旦

「小人閑居にして不善をなす」との諺があります。

閑だから悪いことをするという度胸もなく、仕事をリタ

イアして1年、この間に、町議会を傍聴して感じたことをテーマにして町政モニターに応募しました。(かーるい気持ちで)

最初の会合で、町長さんから委嘱状を頂き、自己紹介等があり皆さん立派な経歴に驚くと同時に、首から下だけで勤めあげたものには、何か場違いなところに来たのではないかと戸惑いました。

今までに6回の会合があり、各回ごと異なったテーマを示され、それぞれに意見を述べたのですが、肩の力を抜き自分のレベルでの発言に終始しました。

たまたまだとは思いますが、モニターに応募したテーマ「町議会の議場に国旗を揚げろ」が、新庁舎落成後の議会から実現すると聞き、モニターになった甲斐があったと喜んでいました。

いろいろご指導頂いた、町

長を始めとする役場企画課の皆様及び同期モニター諸兄の皆様、本当に有り難うございました。

「世代を越えて聞こう、
話そう」

馬場 奈美

まず、今回モニター活動を通していろいろなことを考える機会を持てたことを他のモニターの方を始め、担当いただいた町職員及び関係各位全てに感謝したい。本当に貴重な経験をさせていただいた。

ただ、私自身は皆さんのお話をありがたがって聞いていたら終わってしまった感じがして、何もお手伝いできなかったのではと申し訳なく思っている。

今でも思い出すのは、初めてのモニター会議のこと。人生経験豊かとお見受けする立派な方ばかりの中、どうみても私一人だけが浮いていた。会議が進行していくにつれ、その不安は現実のものとなった。「本当に私なんか出席

しているの？」という思いと「同年代かも」と近い世代の人の意見が聞きたい(皆さん、すみません)という複雑な思いが頭の中をグルグル回っていた。

しかし、一緒にいる機会が増えていくにつれ、そんな不安もいつのまにか消えていった。というのも、皆さんから本当にいろいろなことを学ぶことができたからだ。そして、普段、自分がどれ程狭い視野でものをみていたのか気付かされたことも大きい。

「国旗」のあり方が話題になったことがある。私自身は国旗戦争という負のイメージからそのことについて語ることなど考えられなかった。しかし、一人の方が言われた一言でハッとしました。「皆、

国旗に責任を押しつけていないか。実際、戦争を起こしたのは人間ではないのか」と。また別な方が「私はあの美しい日の丸が大好きなんですよね」としみじみ言われた。確かにオリンピックで金メダルを取った選手をたたえるため

に揚がったあの日の丸の美しかったこと。そんな気持ちを持ったことにさえ罪悪感を持っていた。私はむしろ今でも戦争反対だし、平和な世の中が続くことを心から祈っている。ただ、国旗に対する考えは柔軟なものになってきた。国旗を愛していても、戦争は絶対反対であるという人がいることも分かったからだ。

人は各々いろいろな背景を持つているのに、最近の世の中は一つの価値観のみが認められるような気がしてならない。新世紀を迎えた今こそ、もっとお互いを理解し、尊重しあわないと確一的な口ポツトのような人間ばかりの冷たい社会になってしまいうそで心配だ。

最後になったが、私のようになちっぽけな気付きでも、大きな発見でも、何でもできそうな可能性をモニター活動は秘めていると思う。今後多くの方が世代を越えて活動されることを願って筆をおくことにする。

(企画課)

ねんりんピック

「筆の都熊野」らしい大会に

10月7日(土)・8日(祝)の大会開催まで100日を切った「ねんりんピック」。

熊野町実行委員会では、昨年、町内各団体に活躍されている75人の委員で構成する3つの委員会を設置し、町民参加で3世代が交流する「筆の都熊野」にこだわった大会開催を計画しました。



【第51回 国体式典で行った大書】

大書の歓迎看板、選手団への歓迎と激励の絵手紙運動、心のこもった手づくり記念品、

花いっぱい運動、ビーチボールバレーによるエキジビション・マッチ、筆の里工房ツアーなど、全国から集まる約500人の選手団の皆様は熊野筆のPRと熊野の人情に触れていただく生き生きとした大会にしていくことになりました。

ただいま製作中!!

『心のこもった手づくり記念品でもてなしを!』をキャッチフレーズに、今ねんりんピックの記念品づくりを行なっています。

これは、家庭で眠っているネクタイを手づくりポーチに再生し、ねんりんピックに出場する選手団に記念品として贈るというもの、老人ク



【皆さんも一緒に作りませんか】



「おじいちゃん・おばあちゃん絵画展」作品募集

当日、参加される選手を温かく迎えるため、また応援の気持ちを含めて「おじいちゃん・おばあちゃん」をテーマにした絵画展を開催します。あなたのまわりの「おじいちゃん・おばあちゃん」を描いて、どしどし応募してください。

テーマ
元気よく生き生きとしているおじいちゃん・おばあちゃん

おじいちゃん・おばあちゃんと子どもが遊んでいる姿など。

応募資格
町内の保育・幼稚園児、小学生
作品の規格
画用紙四つ切り(540×381mm)

以上で様式は自由
表彰
優秀賞・参加賞ほか
締切り

9月10日(土)

チーム担当スタッフ募集

リハーサル大会で好評だった各チームのお世話をしてくださるボランティア・スタッフを今年も募集します。大会期間中、出場する選手が気持ちよく競技に臨み、十分な活躍と熊野町の魅力を満喫してもらうための交流大使としてご応募ください。

募集人員 60人
スタッフの資格
10月7日・8日の2日間従事できる方

年齢が概ね40歳以上
心のこもったもてなしができる方
締切り 7月16日(土)
応募と問合せ先
福祉課 「ねんりんピック事務局」(820・5605)



ひろっぴー